

第46回豊島清掃工場運営協議会について

1 豊島清掃工場運営協議会委員名簿（令和2年2月3日現在）

2 第46回豊島清掃工場運営協議会資料

1) 操業状況について

- 1－(1) ごみ搬入量・台数及び焼却量
- 1－(2) 区民の声対応状況
- 1－(3) 施設見学集計表

2) 環境調査結果について

- 2－(1) 排ガス調査結果
- 2－(2) 排水調査結果
- 2－(3) 騒音調査結果
- 2－(4) 振動調査結果
- 2－(5) 臭気調査結果
- 2－(6) ごみ性状調査結果
- 2－(7) ダイオキシン類調査結果
- 2－(8) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果

3) その他

資料1 豊島清掃工場の放射能等測定結果について

資料2 豊島清掃工場 放射能濃度測定の一部終了について

豊島清掃工場運営協議会委員名簿（令和2年2月3日現在）

住民委員（16名）

団 体 名 等		氏 名	備 考
豊 島 区 町 会 連 合 会		田中 幸一郎	
近隣地区	第 2 地 区	岡部 俊夫	
	第 3 地 区	平田 光子	
	第 11 地 区	森 淑夫	
近隣町会	池 袋 東 一 町 会	野本 涉	
		原田 雅司	
	上 池 袋 町 会	小峰 博	
	東池袋一丁目中央町会	内田 勇二郎	
		鈴木 哲男	
	西 山 町 会	浅川 清雄	
		五十嵐 彰	
池 袋 本 町 南 町 会	金井 晴夫		
	荒木 武春		
リ サ イ ク ル 推 進 団 体		鷺崎 智恵子	
商 店 街	小山 清弘		
	岸本 明		

豊島区委員（5名）

所 属	氏 名	
環 境 清 掃 部 長	柴 俊之	
環 境 清 掃 部 環 境 保 全 課 長	小野 義夫	
環 境 清 掃 部 ごみ 減 量 推 進 課 長	副島 和哉	
環 境 清 掃 部 豊 島 清 掃 事 務 所 長	峰田 和幸	
都 市 整 備 部 土 木 管 理 課 長	増子 嘉英	

東京二十三区清掃一部事務組合委員（4名）

所 属	氏 名	
施 設 管 理 部 処 理 技 術 担 当 部 長	塚越 浩	
施 設 管 理 部 技 術 課 長	井俣 弘治	
施 設 管 理 部 運 営 担 当 課 長	鈴木 和歌	
施 設 管 理 部 豊 島 清 掃 工 場 長	佐々木 涉	

事務局：豊島清掃工場管理係 電 話 3910-5300
FAX 3916-2100

第46回

豊島清掃工場運営協議会

令和2年2月3日（月）

午後3時～

豊島清掃工場3階 会議室B

1 操業状況について

1- (1) ごみ搬入量・台数及び焼却量

(1) 令和元年度

(注) 網掛け部分は、第45回運協(7月)で報告したものです。

年度	月	搬入日数	搬入量(単位:トン)						搬入台数	焼却日数	焼却量(単位:トン)			
			豊島区収集量		他区収集量		持込搬入量				合計		1日平均	
			1日平均	1日平均	1日平均	1日平均	1日平均	1日平均						
元	4	26	4,368	168	1,889	73	15	1	6,272	241	292	30	6,484	216
	5	27	3,983	148	193	7	12	0	4,188	155	215	17	2,655	156
	6	25	3,698	148	321	13	12	0	4,031	161	222	23	3,812	166
	7	27	4,572	169	1,905	71	251	9	6,728	249	297	31	8,262	267
	8	27	4,228	157	5,115	189	758	28	10,102	374	414	31	9,978	322
	9	25	4,089	164	6,187	247	775	31	11,051	442	460	30	9,682	323
	10	27	4,429	164	5,399	200	749	28	10,578	392	416	31	10,001	323
	11	26	4,096	158	2,576	99	457	18	7,128	274	324	30	7,282	243
	12	26	4,348	167	2,325	89	502	19	7,175	276	311	31	8,245	266
合計	9か月の1日平均	236	37,810	160	25,911	110	3,532	15	67,253	285	328	254	66,401	261
30年度	9か月の1日平均	236	35,834	152	27,144	115	2,267	10	65,246	276	324	261	64,659	248
29年度	9か月の1日平均	235	39,127	166	33,959	145	3,226	14	76,312	325	351	261	75,003	287

(注) 1 小数点第1位を四捨五入しているため、縦横の合計が合わないことがあります。

2 次の期間は、搬入量、焼却量ともに少なくなっています。

【令和元年度定期点検補修期間】

- ①1号炉停止期間 平成31年4月13日 から 令和元年6月7日 (56日間)
- ②2号炉停止期間 令和元年5月18日 から 令和元年7月12日 (56日間)
- ③全炉停止期間 令和元年5月18日 から 令和元年6月7日 (21日間)

【令和元年度中間点検期間】

- ①1号炉停止期間 令和元年11月16日 から 令和元年11月29日 (14日間)
- ②2号炉停止期間 令和元年11月30日 から 令和元年12月13日 (14日間)

搬入台数及び搬入経路の遵守

1 清掃工場への搬入台数と搬入経路については、各清掃事務所と打合せを行い、覚書に基づいた搬入計画を作成し遵守するよう協力を求めています。

2 池袋大橋からの搬入車両については、調査を実施し、台数の確認をしています。

1-(2) 区民の声対応状況

(令和元年6月1日～12月31日)

受付年月日	内容	対応経過	備考
令和元年9月5日	自転車走行中の区民がいたにもかかわらず、搬入車両が退場する際の一時停止を怠り、そのまま走り去ってしまった。	当工場に搬入している全ての清掃事務所に対し、本事案の発生と交通ルールの徹底の依頼を文書で通知した。 さらに、本事案後1週間、当該現場において、工場職員が搬入車両に対して一時停止の徹底を監視・指導し、再発防止対策を講じた。	

1-(3) 施設見学集計表

令和 元 年度

(注)網掛け部分は、第45回運協(7月)で報告したものです。

年度	月	一般住民		小・中学生		高・大学生		官 公 庁 議 会 ・ 報 道		海外		民間		合 計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
元	4	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	3	133	0	0	0	0	0	0	2	46	0	0	5	179
	8	6	154	2	26	0	0	0	0	5	78	0	0	13	258
	9	3	32	14	732	0	0	0	0	1	27	0	0	18	791
	10	4	73	12	587	0	0	0	0	2	39	0	0	18	699
	11	2	68	5	277	0	0	0	0	0	0	0	0	7	345
	12	1	3	1	65	0	0	0	0	1	13	1	50	4	131
合計		21	473	34	1,687	0	0	0	0	11	203	1	50	67	2,413
30年度 (4月～12月)		15	454	34	1,509	0	0	6	28	18	311	1	37	74	2,339
29年度 (4月～12月)		19	474	32	1,448	0	0	5	121	13	352	2	77	71	2,472

(注)定期補修工事期間(4月～6月)は、見学者数が少なくなっています。

2 環境調査結果について

2-1 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		炉	調査年月日				単位
	法律	自己規制値		1号	平成31年4月9日	令和元年6月25日	令和元年8月6日	
			2号	平成31年4月8日	令和元年7月30日	令和元年8月7日	令和元年10月9日	
ばいじん	0.08	0.02	1号	不検出	不検出	不検出	不検出	g/m ³ N
			2号	不検出	不検出	不検出	不検出	
硫黄酸化物	41	20	1号	不検出	不検出	不検出	不検出	ppm
			2号	不検出	不検出	不検出	不検出	
窒素酸化物	86	60	1号	33	32	33	30	ppm
			2号	35	33	36	32	
塩化水素	430	15	1号	不検出	不検出	不検出	不検出	ppm
			2号	不検出	不検出	不検出	不検出	
水銀	50	—	1号	0.24	0.34	0.55	0.14	μg/m ³ N
			2号	0.22	0.50	0.12	0.25	

(注)

- 1 「不検出」とは、定量下限値未満を表します。ただし、全水銀は環境省が提示した表記方法に則り、定量下限値未満で検出下限値以上の数値は括弧書きで示し、検出下限値未満を「不検出」とします。
- 2 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 3 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 4 ppmは、100万分の1の割合を表します。

2-（2） 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日				単位
			平成31年4月1日	令和元年6月4日	令和元年8月6日	令和元年10月15日	
1	温度	45未満	22.0	24.6	34.8	28.6	℃
2	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	7.6	7.7	7.7	7.5	—
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
4	浮遊物質 (SS)	600未満	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
5	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	30以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
6	フェノール類	5以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
7	銅及びその化合物	3以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
8	亜鉛及びその化合物	2以下	0.02	0.07	0.02	0.02	mg/L
9	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
10	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
11	クロム及びその化合物	2以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
12	窒素含有量	120未満	6.2	4.6	6.3	6.8	mg/L
13	燐含有量	16未満	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
14	沃素消費量	220未満	不検出	14	4	6	mg/L
15	カドミウム及びその化合物	0.03以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
16	シアン化合物	1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
17	有機燐化合物	1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
18	鉛及びその化合物	0.1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
19	六価クロム化合物	0.5以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
20	砒素及びその化合物	0.1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
21	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L

2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日				単位
			平成31年4月1日	令和元年6月4日	令和元年8月6日	令和元年10月15日	
22	アルキル水銀化合物	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
23	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
24	トリクロロエチレン	0.1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
25	テトラクロロエチレン	0.1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
26	ジクロロメタン	0.2以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
27	四塩化炭素	0.02以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
28	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
29	1,1-ジクロロエチレン	1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
30	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
31	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
32	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
33	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
34	ベンゼン	0.1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
35	1,4-ジオキサン	0.5以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
36	シマジン	0.03以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
37	チオベンカルブ	0.2以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
38	チウラム	0.06以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
39	セレン及びその化合物	0.1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	mg/L
40	ふっ素及びその化合物	8以下	0.10	0.14	0.16	0.05	mg/L
41	ほう素及びその化合物	10以下	0.51	0.14	0.94	0.55	mg/L

(注) 「不検出」とは、定量下限値未満を表します。

2-(3) 騒音調査結果

調査年月日：稼働時 令和元年10月30日(水)～31日(木)

停止時 令和元年5月27日(月)～5月28日(火)

調査機関：株式会社東京環境測定センター

単位：デシベル

時間区分	昼間			夕			夜間			朝		
調査時間	(13時～16時)			(20時～22時)			(0時～2時)			(6時～8時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
①	60	57	61	55	56	58	50	52	53	55	55	55
②		60	59		56	56		55	55		57	56
③		60	58		57	57		55	56		56	56
④		63	64		59	60		61	58		62	62
⑤		65	65		62	60		60	58		62	64
⑥		65	65		61	62		59	60		63	65
⑦		59	59		56	57		56	55		59	58
⑧		58	59		55	54		55	53		56	55
⑨		57	60		56	57		55	55		56	57
⑩		59	59		57	57		57	55		58	59

(調査地点は、P11を参照してください。)

【調査機関の見解】

豊島清掃工場における騒音測定結果と基準値を比較すると、稼働時の騒音レベルが基準値を超えている地点は、昼の④～⑥の計3地点、夕の①～⑦、⑨、⑩の計9地点、夜の全10地点、朝の②～⑩の計9地点であった。当該工場は、高速道路や幹線道路、鉄道によって周囲を囲まれており、周辺環境の影響が比較的大きかった。

なお、上記以外の測定点においては基準値を満足していた。

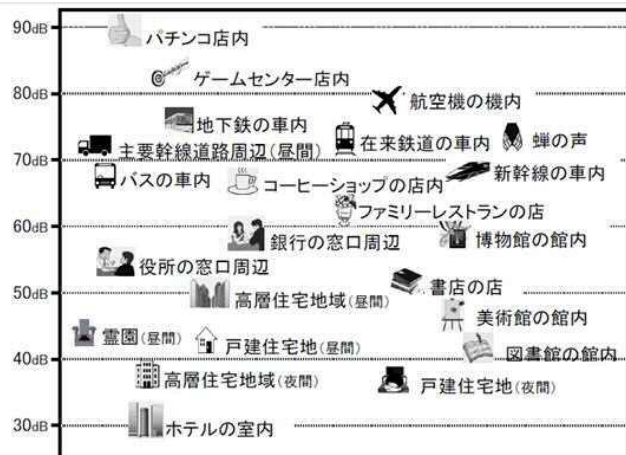


図1 騒音の目安(都心・近郊用)

(出典「全国環境研協議会 騒音小委員会」)

2-(4) 振動調査結果

調査年月日 : 稼働時 令和元年10月30日(水)~31日(木)

停止時 令和元年5月27日(月)~5月28日(火)

調査機関 : 株式会社東京環境測定センター

単位:デシベル

時間区分	昼間			夜間		
調査時間	(13時~16時)			(0時~2時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
1	65	47	34	60	50	29
2		37	37		36	29
3		36	35		33	27
4		32	32		28	26
5		44	36		46	33
6		36	31		35	29

(調査地点は、P11を参照してください。)

【振動のめやす】 出典:「東京の環境2011」(東京都環境局)

デシベル	50	60	70	80	90
状態	人体に感じない程度	静止している人にだけ感じる	大勢の人に感じる程度で、戸、障子がわずかに動く	家屋が揺れ、戸、障子がガタガタと音をたてる	家屋が激しく揺れ、すわりの悪いものが倒れる

2-(5) 臭気調査結果

調査年月日：令和元年8月22日(木)

調査機関：株式会社むさしの計測

項目	基準値	調査地点			定量下限値
		①	②	③	
臭気指数	12	10未満	10未満	10未満	10

(調査地点は、下図を参照してください。)

(注)

臭気指数は、試料を臭気が感じられなくなるまで無臭空気希釈したときの倍率(希釈倍率)をもとに、人の嗅覚の特性に合うように計算して求めた値です。

臭気の測定方法は、「大気試料は10倍希釈から測定を開始」と定められています。

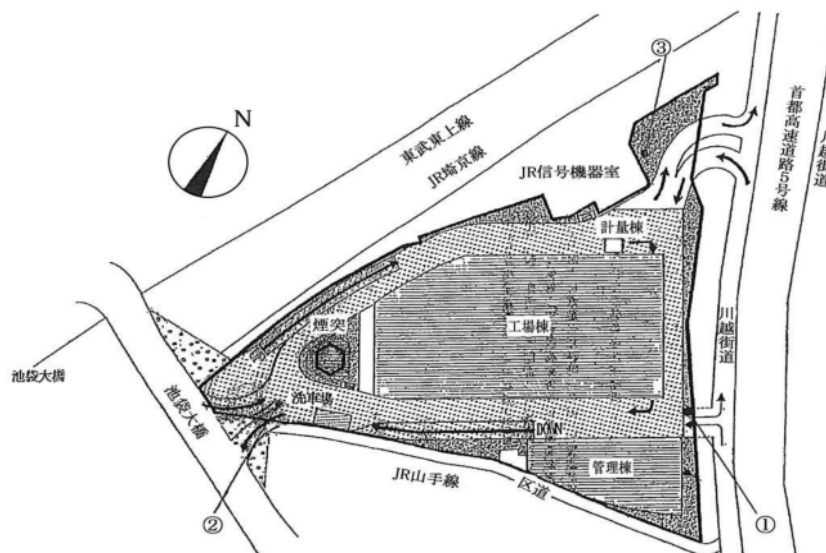
この10倍希釈において臭気が感じられない場合、臭気指数は10未満となります。

(参考)

臭気指数 = $10 \times \log$ (希釈倍率)

例: 試料を100倍に希釈したときの臭気指数 $10 \times \log 100 = 10 \times 2 = 20$

【臭気調査地点】



2-(6) ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

調査年月日 分類項目	第1回 令和元年5月7日	第2回 令和元年7月10日	平均値
可燃物	98.58	98.64	98.61
紙類	39.73	41.17	40.45
繊維	11.53	3.93	7.73
厨芥	13.97	18.48	16.23
木草	5.71	8.97	7.34
プラスチック類	24.32	22.66	23.49
ゴム・皮革	1.55	0.87	1.21
その他可燃物	1.77	2.56	2.17
不燃物	1.42	1.36	1.39
金属	0.48	0.49	0.49
ガラス	0.24	0.28	0.26
石・陶器	0.02	0.03	0.03
その他不燃物	0.68	0.56	0.62
合計	100.00	100.00	100.00
低位発熱量(kJ/kg)	14,191	11,011	12,601

(注) 端数処理のため、各回及び平均値の内訳及び合計が合わない場合があります。

2-(7) ダイオキシン類調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

項目		基準値	自己規制値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1号炉	1	0.1	0.000022	平成31年4月9日	ng-TEQ/m ³ N
				0.000025	令和元年8月6日	
				0.00000088	令和元年10月10日	
	2号炉			0.000018	平成31年4月8日	
				0.000026	令和元年8月7日	
				0.000016	令和元年10月9日	
飛灰処理汚泥		—	—	0.29	令和元年8月6日	ng-TEQ/g
排水		10		0.0097	令和元年8月6日	pg-TEQ/L

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 排ガス中のダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ngは10億分の1グラムを表す単位です。
例えば、50m×20mのプールに水を深さ1mに満たして角砂糖1個(1g)を溶かした場合を想定すると、その水1ccに含まれている砂糖が1ngになります。
- 5 pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムを表す単位です。
1,000pgが1ngになります。例えば、東京ドームに相当する体積の入れ物を水でいっぱいにした場合の重さが約10¹²gです。このため、東京ドームに相当する入れ物に水を満たして角砂糖1個(1g)を溶かした場合を想定すると、その水1ccに含まれている砂糖が1pgになります。
(出典:「関係省庁共通パンフレット ダイオキシン類2012」)
- 6 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 7 飛灰処理汚泥は、飛灰を薬剤処理(ダイオキシン類対策特別措置法で定められた処理)している
ので、基準値は適用されません。

2-(8) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果

- 1 調査年月日 令和元年8月21日(水)～8月28日(水) (稼働時7日間連続サンプリング)
- 2 調査場所 工場及び周辺4か所の計5か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省:平成20年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	豊島清掃工場	豊島区上池袋2-5-1	0.031	pg-TEQ/m ³
2	区民ひろば池袋本町	豊島区池袋本町3-9-4	0.013	
3	* 区民ひろば清和第二	豊島区巢鴨3-13-12	0.020	
4	千登世橋教育文化センター	豊島区雑司が谷3-1-7	0.021	
5	* 公園管理事務所	豊島区千早2-1-14	0.017	

*は豊島区による調査であることを示します。

(調査場所は、P16を参照してください。)

調査日の天気

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
曇後雨	雨後曇後雨	雨後曇後雨	晴後曇後晴一時雨	晴後曇一時雨	雨後曇一時晴	雨後曇後雨

調査日の気象条件(7日間の平均値)

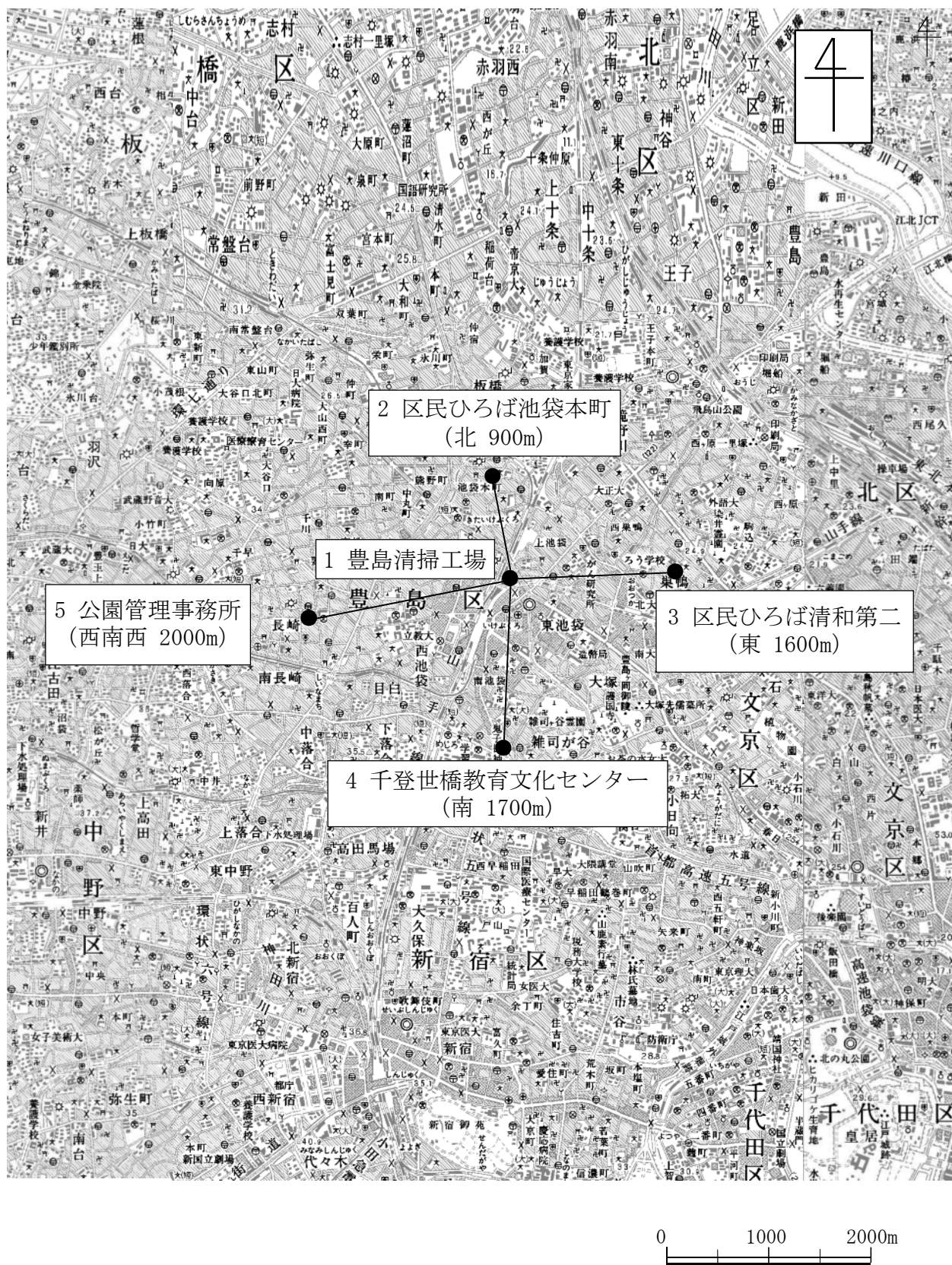
気温	湿度	雨量	主な風向	風速
27.8℃	65%	52.5mm	東北東	2.1m/s

(注) 雨量は7日間の合計値を示し、風向は最多出現を示します。

6 まとめ

- (1) 調査結果の値は、環境省が定める大気中ダイオキシン類の環境基準である0.6 pg-TEQ/m³(年平均値)と比べ、十分に低い値である。
- (2) 豊島清掃工場煙突でのダイオキシン類調査結果(0.000026 ng-TEQ/m³N:令和元年8月6日、7日それぞれの測定結果の平均値)と調査日の気象条件等から大気拡散シミュレーションを行ったところ、拡散倍率は37万倍、周辺大気環境に与える影響は最大で0.000000069 pg-TEQ/m³Nであり、調査結果と比べて小さい。
- (3) 以上のことから、今回の調査結果では豊島清掃工場の排ガス中のダイオキシン類が周辺大気環境に与える影響は極めて小さいといえる。

周辺大気中のダイオキシン類調査場所概略図



令和 2 年 2 月 3 日
東京二十三区清掃一部事務組合

豊島清掃工場の放射能等測定結果について

1 放射能濃度測定結果

測定機関 株式会社 むさしの計測
測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省)
廃棄物等の放射能調査・測定法暫定マニュアル(国立環境研究所)
使用測定器 ゲルマニウム半導体検出器

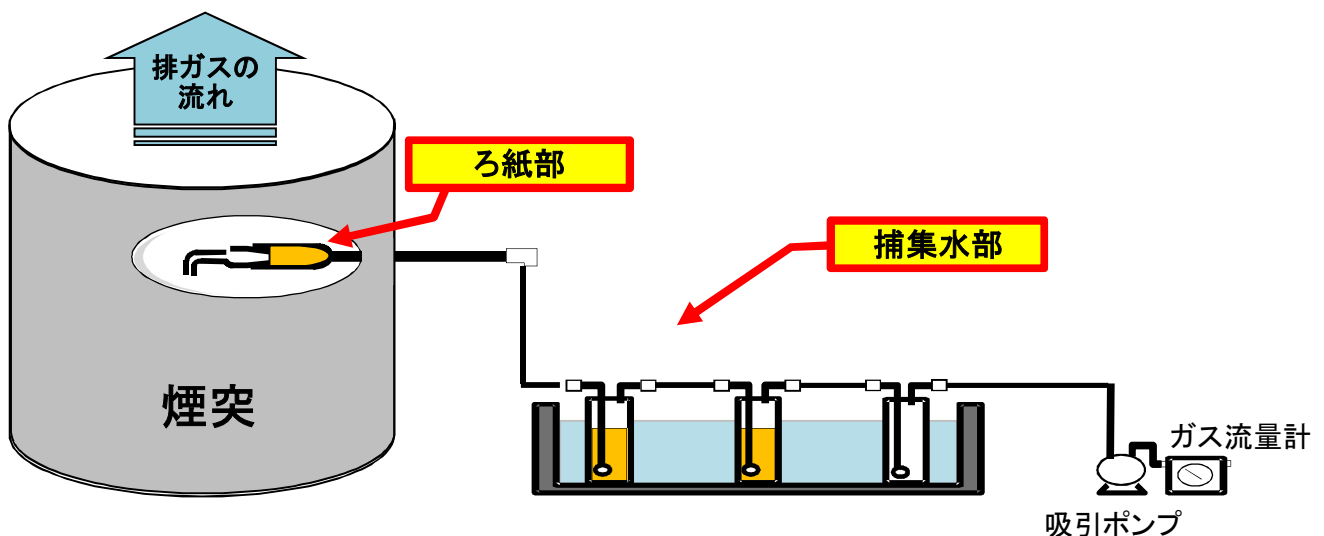
項目		放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 合計	試料採取日	単位
1	流動床不燃物	不検出(<17)	27	27	令和元年12月19日	Bq/kg
2	飛灰処理汚泥	不検出(<14)	26	26	令和元年12月19日	Bq/kg
3	放流水	不検出(<13)	不検出(<13)	不検出	令和元年12月19日	Bq/L
4	排ガス (煙突)	1号炉 ろ紙	不検出(<0.16)	不検出(<0.20)	令和元年12月26日	Bq/m ³ N
		捕集水	不検出(<0.59)	不検出(<0.55)		
	2号炉 ろ紙	不検出(<0.21)	不検出(<0.17)	令和元年12月26日		
	捕集水	不検出(<0.63)	不検出(<0.55)			

(注)

- 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。
- 放射能濃度測定における検出下限値は、分析装置に充填する試料の密度等の影響を受け、測定ごとに異なる値を示します。

【排ガス採取方法】

粒子状の放射性物質は微細な粒子まで捕捉できるろ紙で、その他のものは捕集水で捕集します。



2 空間放射線量率測定結果

単位: μ Sv/h

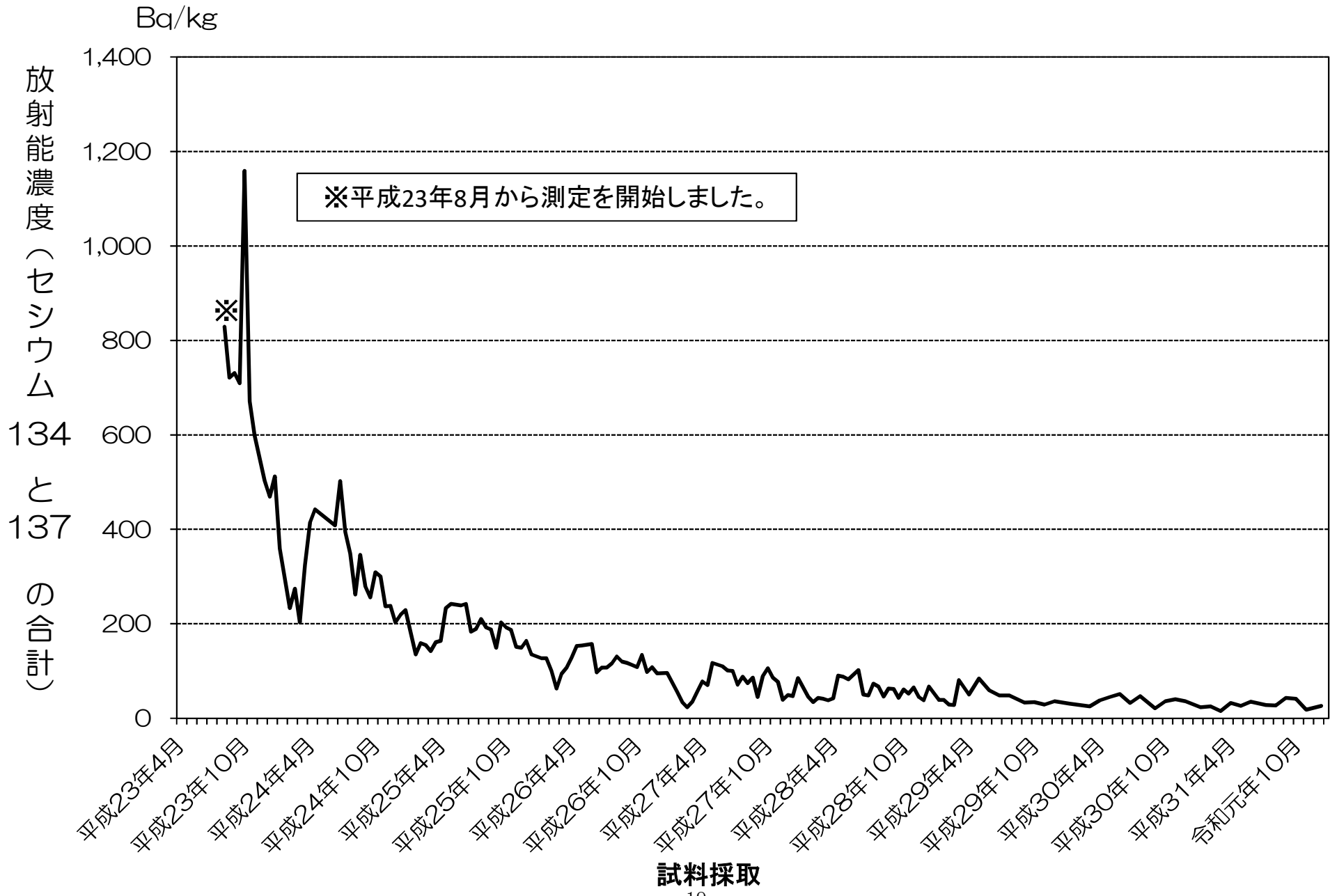
測定日	敷地境界					工場内 灰処理設備等
	東	西	南	北	※1	
令和元年12月6日	0.05	0.07	0.05	0.05	0.05	0.02 ~ 0.05
令和元年12月12日	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	
令和元年12月19日	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	
令和元年12月27日	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	

(注)

- 1 当組合工場職員等による測定です。
測定方法 : 「放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省)」(指示値を5回読み取った平均値)
測定機器 : エネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータ
- 2 測定値は気象条件等により変化します。
- 3 敷地境界は地上高さ1m、工場内灰処理設備等は設備から5cmと1mの距離での測定結果です。
- 4 ※1は灰処理設備から最も離れた地点です。

豊島清掃工場 飛灰処理汚泥の放射能濃度推移

参考



令和 2 年 2 月 3 日
東京二十三区清掃一部事務組合

豊島清掃工場 放射能濃度測定の一部終了について

豊島清掃工場では、平成 23 年 7 月から焼却処理で発生する流動床不燃物等の放射能濃度を測定し、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能の影響を確認してきました。測定開始から 8 年余りが経過し、放射性物質の移動や経年変化などについての知見が得られたことから、下記のとおり測定の一部を終了します。

記

1 測定の一部終了

測定開始以降、放流水（下水道放流）の放射能濃度はいずれも不検出で安定的に推移しています。また、放流水（下水道放流）には、放射性物質汚染対処特別措置法による測定は義務付けられていません。

このことから、放流水（下水道放流）の定期的な測定を令和 2 年 3 月で終了し、令和 2 年 4 月からはそれ以外の測定項目を対象に測定していきます。詳細は下表のとおりです。

表 測定項目と測定頻度

測定項目（対象物）		測定頻度	
		令和 2 年 3 月まで	令和 2 年 4 月から
放射能濃度※	流動床不燃物	1 回/月	
	飛灰処理汚泥	1 回/月	
	放流水（下水道放流）	1 回/月	終了
	排ガス	1 回/月	
空間線量率	敷地境界	1 回/週	
	工場内灰処理設備等	1 回/2 週	

※測定する放射性核種は、セシウム 134 とセシウム 137 である。

第47回豊島清掃工場運営協議会について

1. 運営協議会の書面開催について

当初、7月下旬の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合形式での協議会を見合わせ、7月17日に各委員あて資料を発送した。

2名の委員から、同封した「ご意見・ご質問票」の返送があった。(うち、議題に関する質問は1件。)

2. 操業状況について

(1) ごみ搬入量・台数及び焼却量(p.4)

① 令和元年度

- 全炉停止期間が法定検査のため前年度より1週間長い計画だったが、概ね計画どおり安定的に稼働。
- 1号炉において計画外停止期間が1日(3月16日)あった。
排ガスの流量を調整する機械に動作不良が生じたため、予防保全のために焼却炉を立ち下げて計画的に補修を行った。当日中に速やかに焼却炉を立ち上げたため、搬入への影響はなし。

② 令和2年度

- 2号炉において計画外停止期間が7日間(5月1日～5月7日)あった。
焼却炉内で大量の焼却不適物が堆積し、運転継続が困難となったため、焼却炉を立ち下げ、冷却した後に除去を実施。
その後、としまテレビ、広報としま、区ホームページなどでごみの適切な分別徹底等について喚起。

(2) 区民の声対応状況(p.5)

臭気に関する問合せが1件。確認した臭気の状態等を連絡し、納得いただいた。

(3) 施設見学者数(p.6)

- ① 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症対策による見学受入停止の影響もあり、見学者数は、前年度比約10%減。
- ② 施設見学は、令和2年2月26日から、新型コロナウイルス感染症対策のため当面の間、受入れを停止。見学再開時期は、今後の感染状況を見極め慎重に検討。

3. 環境調査結果について(p.7)

調査値は、基準値、自己規制値等を十分に下回っており、問題はなかった。

4. 豊島清掃工場の放射能等測定結果について(p.16)

放射能濃度は、飛灰処理汚泥のみ検出されたが十分に低い値で問題はなかった。また、空間放射線量率についても、問題はなかった。

豊島清掃工場運営協議会委員名簿（令和2年7月21日現在）

住民委員（15名）

団 体 名 等		氏 名	備 考
豊 島 区 町 会 連 合 会		田中 幸一郎	
近隣地区	第 2 地 区	岡部 俊夫	
	第 3 地 区	平田 光子	
	第 11 地 区	森 淑夫	
近隣町会	池 袋 東 一 町 会	野本 涉	
		原田 雅司	
	上 池 袋 町 会	小峰 博	
	東池袋一丁目中央町会	内田 勇二郎	
		鈴木 哲男	
	西 山 町 会	浅川 清雄	
		五十嵐 彰	
池 袋 本 町 南 町 会	金井 晴夫		
			欠員
リ サ イ ク ル 推 進 団 体		鷺崎 智恵子	
商 店 街		小山 清弘	
		岸本 明	

豊島区委員（5名）

所 属	氏 名	
環 境 清 掃 部 長	高桑 光浩	新委員
環 境 清 掃 部 環 境 保 全 課 長	岡田 英男	新委員
環 境 清 掃 部 ご み 減 量 推 進 課 長	副島 和哉	
環 境 清 掃 部 豊 島 清 掃 事 務 所 長	岩間 文仁	新委員
都 市 整 備 部 土 木 管 理 課 長	石井 昇	新委員

東京二十三区清掃一部事務組合委員（4名）

所 属	氏 名	
施 設 管 理 部 処 理 技 術 担 当 部 長	塚越 浩	
施 設 管 理 部 技 術 課 長	井俣 弘治	
施 設 管 理 部 運 営 担 当 課 長	鈴木 和歌	
施 設 管 理 部 豊 島 清 掃 工 場 長	佐々木 涉	

事務局：豊島清掃工場管理係 電 話 3910-5300
FAX 3916-2100

第47回

豊島清掃工場運営協議会

令和2年7月21日（火）

1 操業状況について

1-（1）ごみ搬入量・台数及び焼却量

（1）令和元年度

（注）網掛け部分は、第46回運協（2月）で報告した範囲となります。

年度	月	搬入日数	搬入量（単位：トン）								搬入台数 1日平均	焼却日数	焼却量 （単位：トン）	
			豊島区収集量		他区収集量		持込搬入量		合計				1日平均	1日平均
			1日平均	1日平均	1日平均	1日平均	1日平均	1日平均						
元	4	26	4,368	168	1,889	73	15	1	6,272	241	292	30	6,484	216
	5	27	3,983	148	193	7	12	0	4,188	155	215	17	2,655	156
	6	25	3,698	148	321	13	12	0	4,031	161	222	23	3,812	166
	7	27	4,572	169	1,905	71	251	9	6,728	249	297	31	8,262	267
	8	27	4,228	157	5,115	189	758	28	10,102	374	414	31	9,978	322
	9	25	4,089	164	6,187	247	775	31	11,051	442	460	30	9,682	323
	10	27	4,429	164	5,399	200	749	28	10,578	392	416	31	10,001	323
	11	26	4,096	158	2,576	99	457	18	7,128	274	324	30	7,282	243
	12	26	4,348	167	2,325	89	502	19	7,175	276	311	31	8,245	266
	1	25	4,542	182	4,508	180	747	30	9,797	392	435	31	10,130	327
	2	25	3,916	157	5,308	212	813	33	10,037	401	457	29	9,167	316
	3	26	4,412	170	5,051	194	437	17	9,900	381	427	31	9,482	306
合計	年度の1日平均	312	50,680	162	40,778	131	5,529	18	96,988	311	355	345	95,180	276
30年度	年度の1日平均	310	48,269	156	40,652	131	3,141	10	92,063	297	345	351	91,527	261
29年度	年度の1日平均	310	51,761	167	49,163	159	4,837	16	105,761	341	370	350	102,342	292

（注） 1 小数点以下を四捨五入しているため、縦横の合計が合わないことがあります。

2 次の期間は、搬入量、焼却量ともに少なくなっています。

【令和元年度定期点検補修期間】

- ①1号炉停止期間 平成31年4月13日 から 令和元年6月7日 (56日間)
- ②2号炉停止期間 令和元年5月18日 から 令和元年7月12日 (56日間)
- ③全炉停止期間 令和元年5月18日 から 令和元年6月7日 (21日間)

【令和元年度中間点検期間】

- ①1号炉停止期間 令和元年11月16日 から 令和元年11月29日 (14日間)
- ②2号炉停止期間 令和元年11月30日 から 令和元年12月13日 (14日間)

【令和元年度計画外停止期間】

- ①1号炉停止期間 令和2年3月16日 から 令和2年3月16日 (1日間)

(2) 令和 2 年度

年度	月	搬入 日数	搬入量 (単位:トン)								搬入 台数	焼却 日数	焼却量 (単位:トン)	
			豊島区収集量		他区収集量		持込搬入量		合計				1日 平均	1日 平均
				1日 平均		1日 平均		1日 平均		1日 平均				
2	4	26	4,685	180	904	35	9	0	5,598	215	257	30	6,362	212
	5	26	2,004	77	126	5	11	0	2,141	82	134	8	1,371	171
合計	2か月の 1日平均	52	6,689	129	1,030	20	20	0	7,739	149	196	38	7,733	204

(注) 1 小数点以下を四捨五入しているため、縦横の合計が合わないことがあります。

2 次の期間は、定期点検補修を行っています。

【令和2年度定期点検補修期間】

- ①1号炉停止期間 令和2年4月11日 から 令和2年5月23日 (43日間)
- ②2号炉停止期間 令和2年5月8日 から 令和2年6月19日 (43日間)
- ③全炉停止期間 令和2年5月8日 から 令和2年5月23日 (16日間)

【令和2年度計画外停止期間】

- ①2号炉停止期間 令和2年5月1日 から 令和2年5月7日 (7日間)

搬入台数及び搬入経路の遵守

- 1 清掃工場への搬入台数と搬入経路については、各清掃事務所と打合せを行い、覚書に基づいた搬入計画を作成し遵守するよう指導しています。
- 2 池袋大橋からの搬入車両については、調査を実施し、台数の管理をしています。

1-(2) 区民の声対応状況

(令和2年1月1日～令和2年5月31日)

受付 年月日	内容	対応経過	備考
令和2年5月3日	工場から北西約500メートル離れた地域の住民から、以下のとおり問い合わせがあった。「自宅窓を開けると、耐え難い臭いがする。区に問合せたところ、清掃工場かもしれないといわれた。毎年気温が高くなると臭気を感じる。煙突から臭いが漏れているのではないか」	工場の臭気対策を説明し、あらためて、現場を確認した。外部に漏れるほどの強い臭気は確認できなかったが、念のため脱臭ファンを運転した。上記の対応を申立人に報告し、納得いただいた。	

1-(3) 施設見学集計表

(1) 令和 元 年度

(注)網掛け部分は、第46回運協(2月)で報告した範囲となります。

年度	月	一般住民		小・中学生		高・大学生		官 公 庁 議 会・報 道		海外		民間		合 計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
元	4	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	3	133	0	0	0	0	0	0	2	46	0	0	5	179
	8	6	154	2	26	0	0	0	0	5	78	0	0	13	258
	9	3	32	14	732	0	0	0	0	1	27	0	0	18	791
	10	4	73	12	587	0	0	0	0	2	39	0	0	18	699
	11	2	68	5	277	0	0	0	0	0	0	0	0	7	345
	12	1	3	1	65	0	0	0	0	1	13	1	50	4	131
	1	4	68	1	51	0	0	0	0	4	65	0	0	9	184
	2	3	35	1	32	0	0	0	0	3	94	0	0	7	161
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		28	576	36	1,770	0	0	0	0	18	362	1	50	83	2,758
30	年度	23	697	39	1,762	1	20	9	43	25	474	2	71	99	3,067
29	年度	25	568	34	1,571	3	94	5	121	22	522	3	97	92	2,973

(2) 令和 2 年度

年度	月	一般住民		小・中学生		高・大学生		官 公 庁 議 会・報 道		海外		民間		合 計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)定期補修工事期間(4月～6月)は、見学者数が少なくなっています。

※令和2年2月26日より、新型コロナウイルス感染症対策のため、見学会の受入れを停止しています。

2 環境調査結果について

2-1(1) 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		炉	調査年月日			単位
	法律	自己規制値		1号	令和元年12月16日	令和2年2月10日	
			2号	令和元年11月12日	令和2年2月7日	令和2年4月10日	
ばいじん	0.08	0.02	1号	不検出	不検出	不検出	g/m ³ N
			2号	不検出	不検出	不検出	
硫黄酸化物	41	20	1号	不検出	不検出	不検出	ppm
			2号	不検出	不検出	不検出	
窒素酸化物	86	60	1号	34	32	33	ppm
			2号	33	34	31	
塩化水素	430	15	1号	不検出	不検出	不検出	ppm
			2号	不検出	不検出	不検出	
水銀	50	—	1号	0.26	0.18	0.36	μg/m ³ N
			2号	0.27	0.23	0.36	

(注)

- 1 「不検出」とは、定量下限値未満を表します。ただし、全水銀は環境省が提示した表記方法に則り、定量下限値未満で検出下限値以上の数値は括弧書きで示し、検出下限値未満を「不検出」とします。
- 2 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 3 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 4 ppmは、10万分の1の割合を表します。

2-（2） 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日			単位
			令和元年12月6日	令和2年2月18日	令和2年4月1日	
1	温度	45未満	20.8	24.1	22.4	℃
2	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	7.4	7.4	7.6	—
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	1	不検出	不検出	mg/L
4	浮遊物質 (SS)	600未満	不検出	不検出	不検出	mg/L
5	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	30以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
6	フェノール類	5以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
7	銅及びその化合物	3以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
8	亜鉛及びその化合物	2以下	0.03	0.03	0.03	mg/L
9	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
10	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
11	クロム及びその化合物	2以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
12	窒素含有量	120未満	5.9	6.0	5.5	mg/L
13	燐含有量	16未満	不検出	不検出	不検出	mg/L
14	沃素消費量	220未満	3	6	5	mg/L
15	カドミウム及びその化合物	0.03以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
16	シアン化合物	1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
17	有機燐化合物	1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
18	鉛及びその化合物	0.1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
19	六価クロム化合物	0.5以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
20	砒素及びその化合物	0.1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
21	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005以下	不検出	不検出	不検出	mg/L

2-（2） 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日			単位
			令和元年12月6日	令和2年2月18日	令和2年4月1日	
22	アルキル水銀化合物	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	mg/L
23	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
24	トリクロロエチレン	0.1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
25	テトラクロロエチレン	0.1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
26	ジクロロメタン	0.2以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
27	四塩化炭素	0.02以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
28	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
29	1,1-ジクロロエチレン	1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
30	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
31	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
32	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
33	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
34	ベンゼン	0.1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
35	1,4-ジオキサン	0.5以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
36	シマジン	0.03以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
37	チオベンカルブ	0.2以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
38	チウラム	0.06以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
39	セレン及びその化合物	0.1以下	不検出	不検出	不検出	mg/L
40	ふっ素及びその化合物	8以下	0.09	0.09	0.09	mg/L
41	ほう素及びその化合物	10以下	0.18	0.23	0.43	mg/L

(注)

「不検出」とは、定量下限値未満を表します。

2-(3) ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

調査年月日 分類項目	第3回 令和元年11月19日	第4回 令和2年2月13日	平均値
可燃物	98.74	96.84	97.79
紙類	41.91	41.86	41.89
繊維	6.66	5.24	5.95
厨芥	18.93	21.19	20.06
木草	2.99	2.81	2.90
プラスチック類	25.02	22.19	23.61
ゴム・皮革	1.18	1.01	1.10
その他可燃物	2.05	2.54	2.30
不燃物	1.26	3.16	2.21
金属	0.57	0.28	0.43
ガラス	0.23	0.21	0.22
石・陶器	0.02	0.01	0.02
その他不燃物	0.44	2.66	1.55
合計	100.00	100.00	100.00
低位発熱量(kJ/kg)	11,848	10,971	11,410

(注)
端数処理のため、各回及び平均値の内訳及び合計が合わない場合があります。

2-(4) ダイオキシン類調査結果

調査機関：令和2年度 東京テクニカル・サービス株式会社
令和元年度 ユーロフィン日本環境株式会社

項目		基準値	自己規制値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1号炉	1	0.1	0.000021	令和元年12月16日	ng-TEQ/m ³ N
				0.00000028	令和2年4月9日	
	2号炉			0.0000013	令和2年2月7日	
				0.000040	令和2年4月10日	

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ngは10億分の1グラムを表す単位です。
例えば、50m×20mのプールに水を深さ1mに満たして角砂糖1個(1g)を溶かした場合を想定すると、その水1ccに含まれている砂糖が1ngになります。
- 5 m³N(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。

2-(5) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果

- 1 調査年月日 令和2年2月7日(金)～2月14日(金) (稼働時7日間連続サンプリング)
- 2 調査場所 工場及び周辺4か所の計5か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省:平成20年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	豊島清掃工場	豊島区上池袋2-5-1	0.031	pg-TEQ/m ³
2	区民ひろば池袋本町	豊島区池袋本町3-9-4	0.030	
3	* 区民ひろば清和第二	豊島区巣鴨3-13-12	0.030	
4	千登世橋教育文化センター	豊島区雑司が谷3-1-7	0.028	
5	* 公園管理事務所	豊島区千早2-1-14	0.030	

* は豊島区による調査であることを示します。

(調査地点は、P13を参照してください)

調査日の天気

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
曇後晴後曇	晴後曇後晴一時雨	晴後曇	晴	晴後曇	晴後曇後雨	雨後晴後曇

調査日の気象条件(7日間の平均値)

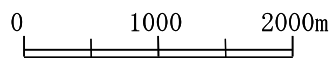
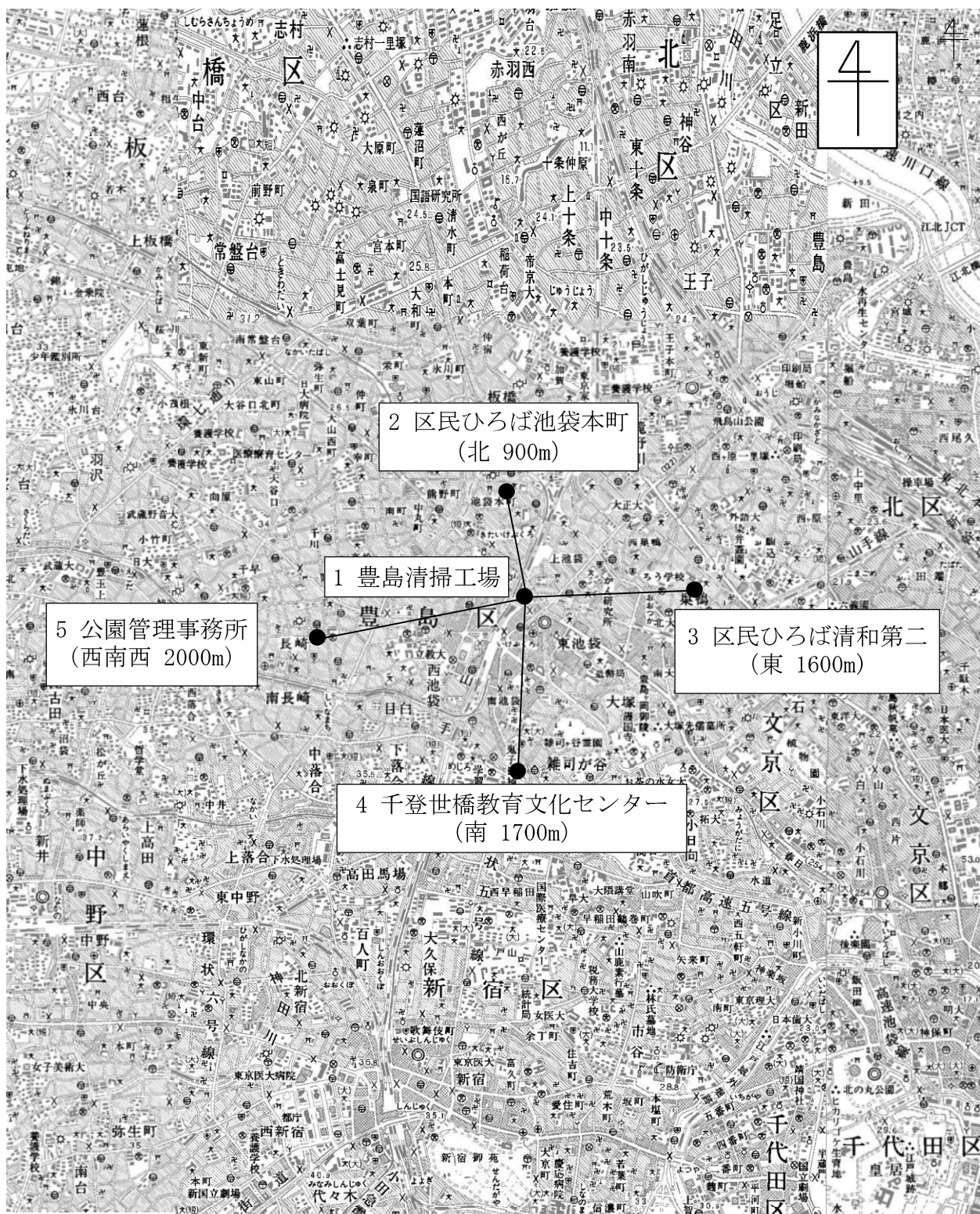
気温	湿度	雨量	主な風向	風速
7.3℃	40%	0.0mm	北東	1.3m/s

(注) 雨量は7日間の合計値を示し、風向は最多出現を示します。

6 まとめ

- (1) 調査結果の値は、環境省が定める大気中ダイオキシン類の環境基準である0.6 pg-TEQ/m³(年平均値)と比べ、十分に低い値である。
- (2) 豊島清掃工場煙突でのダイオキシン類調査結果(0.000011 ng-TEQ/m³N: 令和元年12月16日、令和2年2月7日それぞれの測定結果の平均値)と調査日の気象条件等から大気拡散シミュレーションを行ったところ、拡散倍率は34万倍、周辺大気環境に与える影響は最大で0.000000033 pg-TEQ/m³Nであり、調査結果と比べて小さい。
- (3) 以上のことから、今回の調査結果では豊島清掃工場の排ガス中のダイオキシン類が周辺大気環境に与える影響は極めて小さいといえる。

周辺大気中のダイオキシン類調査場所概略図



2-(6) 土壌中のダイオキシン類調査結果

- 1 調査年月日 令和元年12月5日(木)
- 2 調査場所 工場及び周辺4か所の計5か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル(環境省:平成21年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	豊島清掃工場	豊島区上池袋2-5-1	2.4	pg-TEQ/g
2	巣鴨公園	豊島区北大塚1-12-10	2.2	
3	学校法人学習院	豊島区目白1-5-1	9.9	
4	池袋本町公園	豊島区池袋本町1-27-1	11	
5	千早公園	豊島区千早2-31-10	2.2	

(調査地点は、P 15を参照してください)

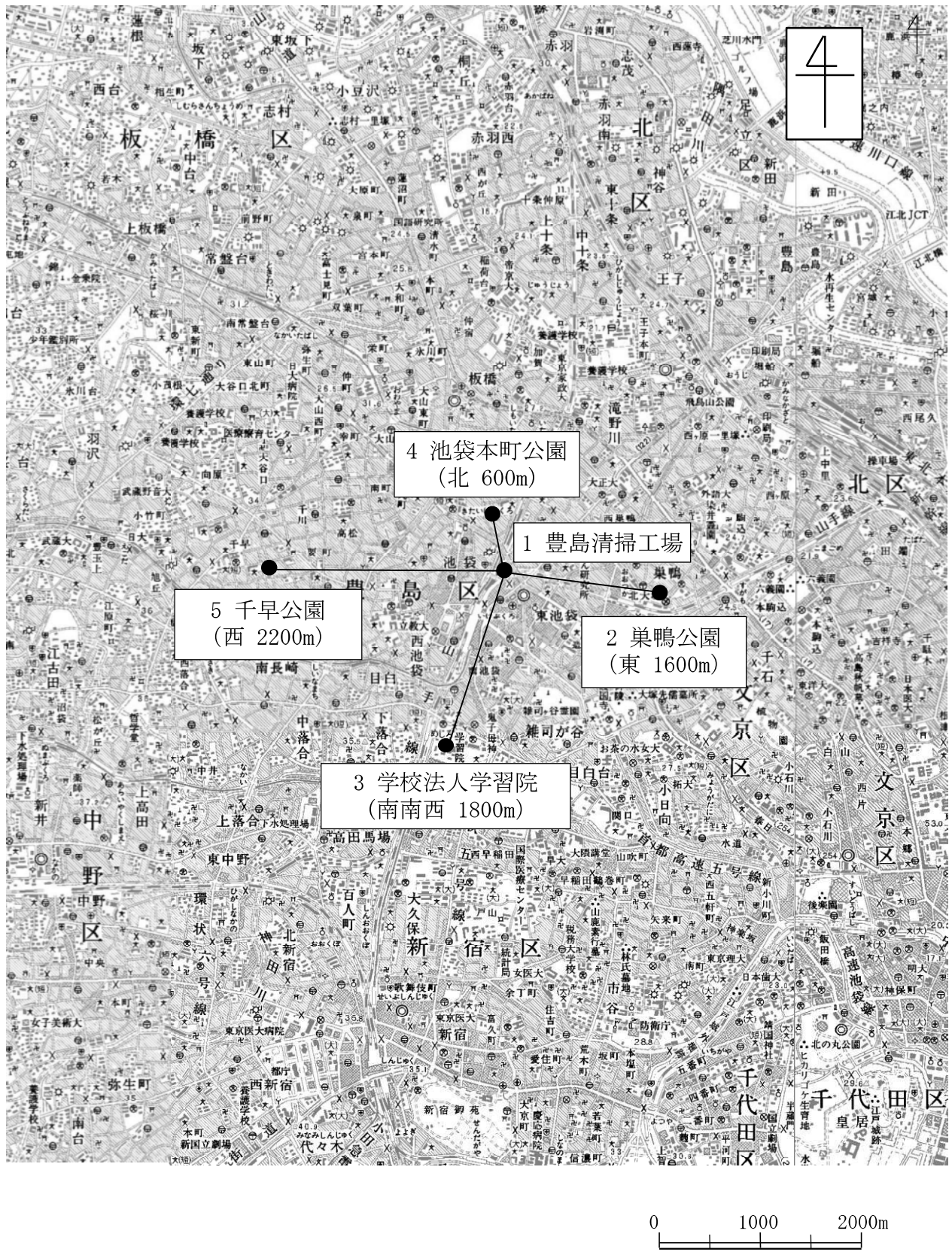
(注)

- 1 pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムの質量を表します。

1,000pgが1ngになります。例えば、東京ドームに相当する体積の入れ物を水でいっぱいにした場合の重さが約 10^{12} gです。このため、東京ドームに相当する入れ物に水を満たして角砂糖1個(1g)を溶かした場合を想定すると、その水1ccに含まれている砂糖が1pgになります。(出典:「関係省庁共通パンフレット ダイオキシン類2012」)

- 2 環境省が定める土壌中ダイオキシン類の環境基準は、1,000pg-TEQ/gです。

土壤中のダイオキシン類調査場所概略図



令和 2 年 7 月 21 日
東京二十三区清掃一部事務組合

豊島清掃工場の放射能等測定結果について

1 放射能濃度測定結果

測定機関 株式会社 むさしの計測
測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省)
廃棄物等の放射能調査・測定法暫定マニュアル(国立環境研究所)
使用測定器 ゲルマニウム半導体検出器

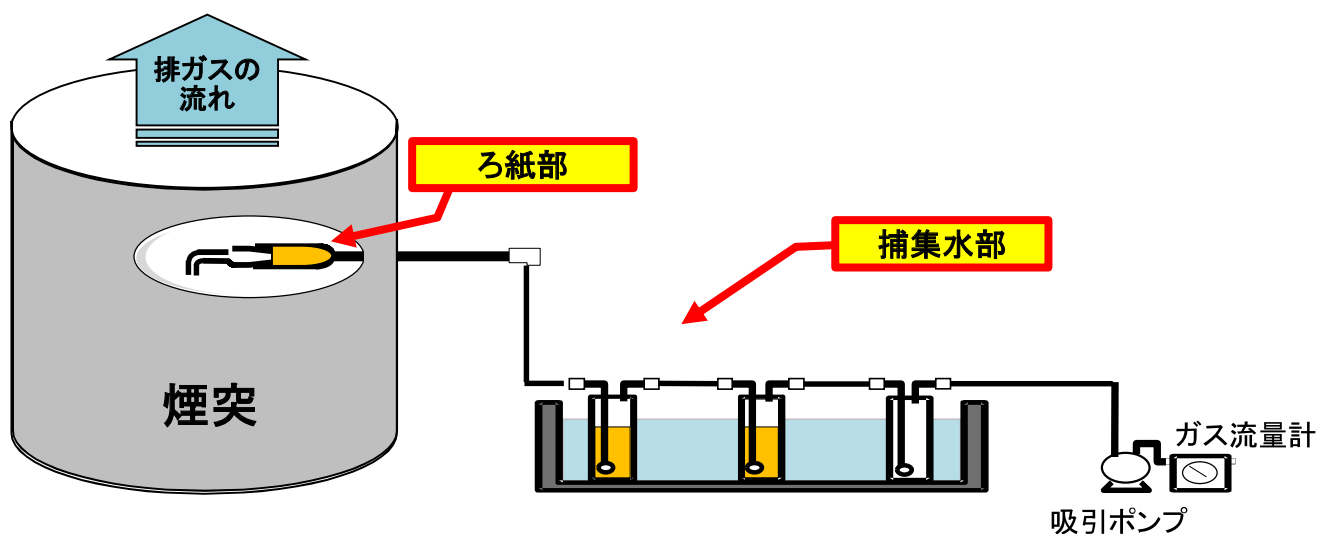
項目		放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 合計	試料採取日	単位
1	流動床不燃物	不検出(<15)	不検出(<15)	不検出	令和2年5月27日	Bq/kg
2	飛灰処理汚泥	不検出(<13)	37	37	令和2年5月27日	Bq/kg
3	1号炉	ろ紙	不検出(<0.16)	不検出	令和2年5月27日	Bq/m ³ N
		捕集水	不検出(<0.57)	不検出(<0.64)		
	2号炉	ろ紙	不検出(<0.17)	不検出(<0.19)	令和2年5月1日	
		捕集水	不検出(<0.57)	不検出(<0.55)		

(注)

- 1 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。
- 2 放射能濃度測定における検出下限値は、分析装置に充填する試料の密度等の影響を受け、測定ごとに異なる値を示します。

【排ガス採取方法】

粒子状の放射性物質は微細な粒子まで捕捉できるろ紙で、その他のものは捕集水で捕集します。



2 空間放射線量率測定結果

単位: μ Sv/h

測定日	敷地境界					工場内 灰処理設備等
	東	西	南	北	※ 1	
令和2年5月6日	0.05	0.07	0.05	0.03	0.05	0.02 ~ 0.06
令和2年5月14日	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	
令和2年5月20日	0.05	0.05	0.06	0.05	0.06	
令和2年5月29日	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06	

(注)

- 1 当組合工場職員等による測定です。
測定方法 : 「放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省)」(指示値を5回読み取った平均値)
測定機器 : エネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータ
- 2 測定値は気象条件等により変化します。
- 3 敷地境界は地上高さ1m、工場内灰処理設備等は設備から5cmと1mの距離での測定結果です。
- 4 ※ 1は灰処理設備から最も離れた地点です。

豊島清掃工場 飛灰処理汚泥の放射能濃度推移

参考

